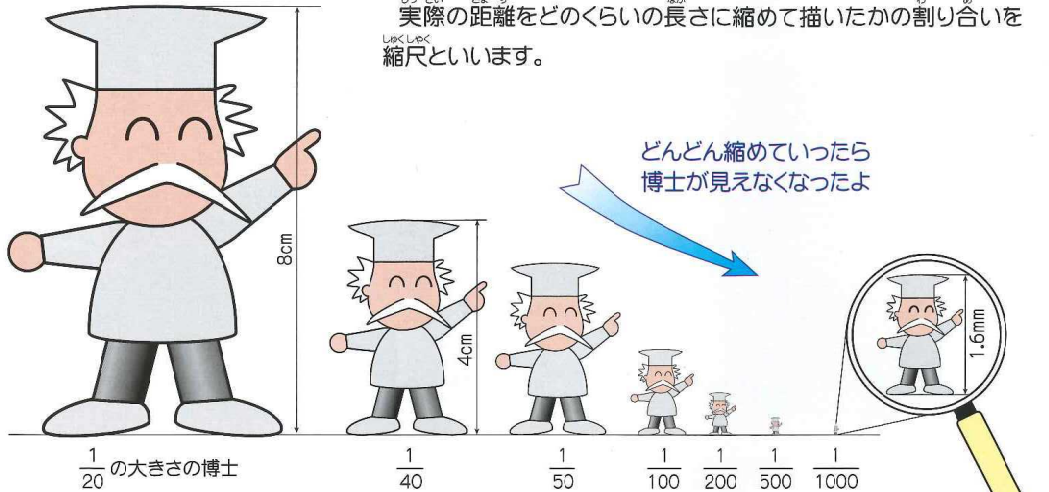


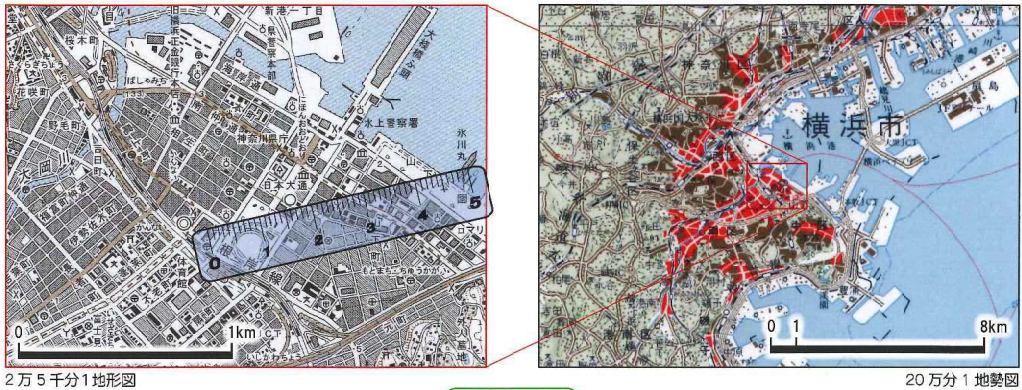
# 大地を小さく縮めて描く

身長 160cm の博士  
縮めて描いてみると・・・

地図を描く紙や、地球儀の大きさは限られています。そこで、地図では地上などにあるものを小さく縮めて表すことになります。実際の距離をどのくらいの長さに縮めて描いたかの割り合いを縮尺といいます。



## 縮尺がちがうと地図はどうなるの



大きい縮尺 ← 縮尺の呼び方 → 小さい縮尺

4cm 1km の距離の地図上の長さ 0.5cm まちの中の細い道路とか描かれていないものがあるね

くわしい ← 地図の内容 → おおまか

せまい ← 地図の範囲 → ひろい



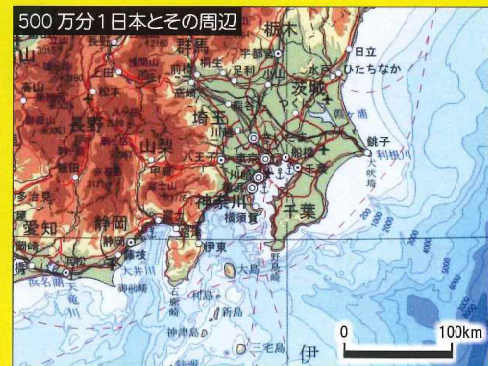
## 小さくても大事なものは大きく描く

地図は縮めるほどに土地のようすをありのままに表すことができなくなります。そこで、小さくても大事なものは、実際の割り合いよりも大きく描いたり、記号をつけて表したりします。

三角点の標石が地上に見えている部分は、15cm ぐらいの大きさじゃから、2万5千分1地形図にそのままの縮尺で描くと、「点」でも書けないじゃでも、地球上の位置を示す大事な基準点じゃから、地図には大きくして記号で描いとるぞ



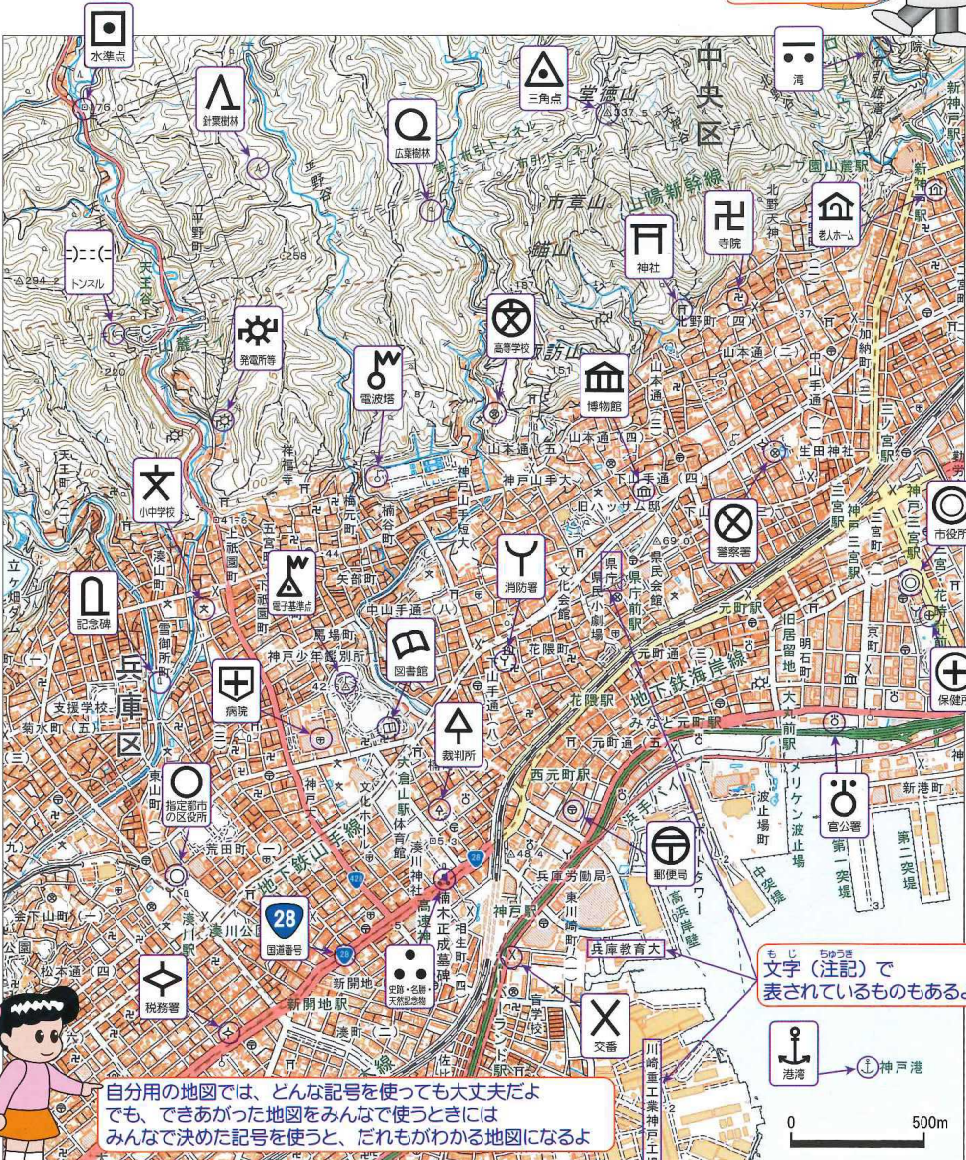
## いろいろな縮尺の地図





# 地図には記号がいっぱい

本を読むときに文字を知っておくことが必要のように、地図を使うときにも記号のことを知っておくと便利です。地形図にはどんな記号があるでしょうか。



文字(注記)で表されているものもあるよ

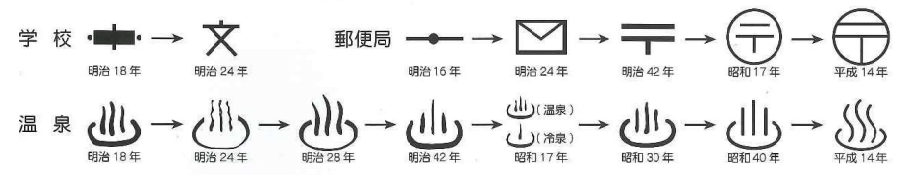


自分用の地図では、どんな記号を使っても大丈夫だよでも、できあがった地図をみんなで使うときはみんなで決めた記号を使うと、だれもがわかる地図になるよ

2万5千分1地形図「神戸首部(平成27年11月発行)」(縮尺2万分の1に拡大)

## ■記号も時代によって形が変わるんだよ

地図記号のかたちは昔からずっと同じではなく、時代とともに変わってきたものもあります。



## ■地図記号はどうやって決まったの？

国土地理院の地形図に平成18年に誕生した「老人ホーム」と「風車」は、小中学生からデザインを募集して決まった記号です。老人ホームは建物と杖の組合せ、風車は風力発電用の風車が勢いよくまわっているイメージです。



ともだちのアイデアから生まれた記号なんだね



老人ホーム



風車



ほかの記号はどうやって決められたのか考えてみましょう。

	<p>小中学校 もじや文章などにつかわれる「文」という漢字</p>		<p>博物館 はくぶつかん たてもの 博物館などの建物のイメージ</p>
	<p>郵便局 ゆうびんきょく 昔、郵便の仕事をしていてしんしょう 通信省の「テ」をOで囲んだ</p>		<p>図書館 とよかん ほん、むら 本を閉じたかたち</p>
	<p>消防署 しょうぼうしょ 昔の「火消し道具」だった「さすまた」のかたち</p>		<p>煙突 えんとつ 煙突のかたちと、煙が立ち上っているようす</p>
	<p>神社 じんしゃ 神社にある鳥居のかたち</p>		<p>水田 すいでん 稲を刈り取った跡のきり株のようす</p>
	<p>果樹園 かじゆえん リンゴなどのくだもののかたちをイメージ</p>		<p>交番 こうばん 警察官が持つ警棒を交差した形 Oで囲むと警察署になる</p>

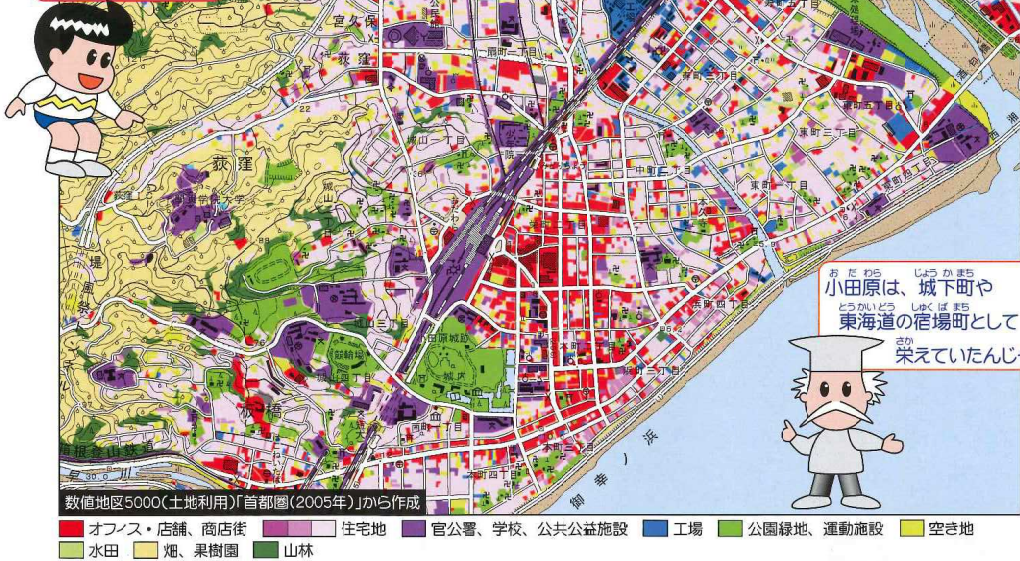


# 地図で土地のようすを調べる

地形図を使って、土地のようすを調べてみましょう。建物や施設の使われ方や植物の種類などを同じ項目ごとに色でぬり分けると、その地域の特徴がよくわかります。また、昔の地図と今の地図をくらべてみると土地のようすの変化がよくわかります。

## 小田原市の土地利用のようす

山の斜面を利用した  
ミカン栽培が盛んだよ

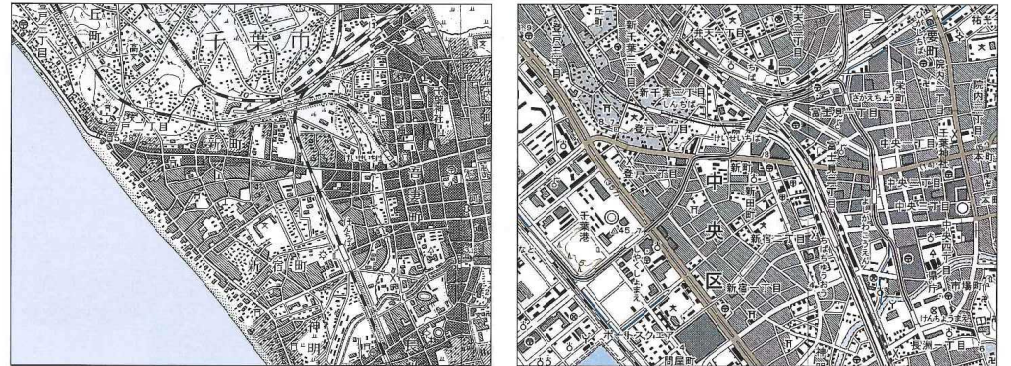


## 「浮島」は本当に島だった

茨城県の稲敷市に「浮島」と呼ばれる地域があります。昭和時代のはじめごろまでは名前のとおり、霞ヶ浦の中にある島でしたが、今は干拓が進み南側の台地と陸続きになっています。



## 地図を見て昔と今をくらべてみよう



## デジタル標高地形図で江戸城、名古屋城、大坂城をくらべてみよう

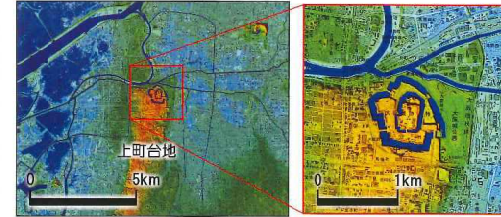
地図を見るとそれぞれの城に共通する地形の特徴が見えてきます。いずれも低湿地に臨んだ台地の端に築城されていて、周囲



江戸城の西側には武蔵野台地が広がり、東側には荒川下流域の低地が広がっています。16世紀末に徳川家康が江戸城に入ったころは、日比谷の入江といわれた海が城の近くまで入っていました。

名古屋城は、熱田台地と呼ばれる台地の北西端に築かれており、北と西を低湿地に囲まれています。北側の矢田川に削られた崖で防備を固めるなど自然の地形を巧みに利用していました。

の湿地帯が敵の侵入を拒む天然の要害となっていました。



大坂城は低湿地に突きだした形の上町台地の先端、戦国時代に難攻不落を誇った石山本願寺の拠点あとに築城されています。かつての淀川本流による北側の崖を天然の要害としていました。

上の地図は千葉市の中心部です。地図を見ながら「どんなところが変わっただろうか、昔も今も変わらないものは何だろうか」を調べてみましょう。

- 海が埋め立てられて、新しいまちができた。市役所が移転したり、港のまわりには官公署が立ち並んでいる。
- 新しい鉄道が開通している。
- 「ちば」駅が移転し、JR線のかたがたが大きく変わった。
- 県庁や裁判所は昔も今と同じところにある。

ほかにはどんなものを見つけたか

